

視覚障害者等用データ送信サービス説明会 事例報告(大阪府立中央図書館)

令和3年7月8日

大阪府立中央図書館 読書支援課 障がい者支援室

小笠原 弘之

1.大阪府立中央図書館の紹介

□「生涯学習時代の大型図書館」

- ・平成8(1996)年開館
- ・蔵書数約285万冊

□バリアフリー設備

点字ブロック、廊下・階段の手すり(点字標示付き)、障がい者用トイレ、誘導鈴、触知案内板、ヒヤリンググループ、障がい者用駐車スペースなど

□障がい者サービス

対面朗読、音声デイジー図書・テキストデータの製作、点字・録音資料の郵送貸出、パソコン利用サービス、一般図書資料の郵送貸出、手話通訳者の配置など

□障がい者サービス担当職員

常勤4名、非常勤2名

2.対面朗読、音訳図書製作について

□朗読協力者 45名

□コロナ禍において、Zoomで対面朗読を実施

□音声デイジーの製作

- ・年間およそ40タイトルを国立国会図書館に登録
(この他に登録を行わないプライベート録音も製作)

3.国立国会図書館「視覚障害者等用データ送信サービス」の活用について

①利用者へのデータ提供

②「学術文献の視覚障害者等用資料の製作」

- ・録音図書製作、テキストデータ製作ともに利用者からの希望あり
- ・国立国会図書館へ製作を依頼、「視覚障害者等用データ送信サービス」を介して提供
- ・これからますますテキストデータ製作の希望が増えていくのでは
(当館も「学術文献以外の資料の製作」を期待されていくことに)

③音声デイジーの登録

- ・登録を機に利用が大幅に増加(「参考表：年度別 録音資料利用統計」参照)
- ・国立国会図書館から年2回送付される統計が参考になる
(どういったタイトルがどれだけ利用されているのか)

④テキストファイルの登録

- ・サピエ図書館には登録できないファイル(プレーンテキスト、EPUB、PDF等)が登録できる

(参考表:年度別 国立国会図書館への音声デジタイズ登録数)

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	合計
国立国会図書館への登録数	108	162	42	35	43	34	42	44	510

※2013年12月より登録を開始。

(参考表:年度別 録音資料利用統計)

年度	媒体での貸出	国立国会図書館からのDL	合計
2008	1,814	-	1,814
2009	1,972	-	1,972
2010	1,832	-	1,832
2011	2,368	-	2,368
2012	2,608	-	2,608
2013	3,651	-	3,651
2014	3,290	4,786	8,076
2015	3,680	6,123	9,803
2016	3,358	7,559	10,917
2017	3,021	8,442	11,463
2018	3,228	9,512	12,740
2019	3,209	11,247	14,456
2020	2,798	10,381	13,179

(参考グラフ:年度別 録音資料利用統計)

